



学級通信

365日

令和3年1月29日
岐阜市立岐阜東幼稚園
たいよう組 No. 31

“へんてこしりとり” しようよ！

子供たちに、『へんてこもりにいこうよ』の絵本を読みました。ご存じですか？私は3年前、ある先生に教えてもらって読んだことがきっかけで、大好きな絵本になりました。それ以来、毎年子供たちに読み聞かせています。何が面白って、へんてこなことが現実にかかることです。一度読んでみてください。絵本を読んだ後日、子供たちに、「へんてこしりとりしようよ！」と誘ってみました。“へんてこしりとり？” ぽかーんとしています。「へんてこな言葉で、しりとりするってことだよ。」「なんでもいいの？」「うん、なんでも。」「じゃあ、“へんてこしりとり” の◎からね。」へんてこしりとりが始まりました。へんてこだから何でもいいと言っても、何でもいいってことが案外難しいのです。つい知っている言葉が浮かんできますからね。しばらく考えたあと、「リ・リ・リ・リさとう！」「いいね、そのへんてこな名前。」「じゃあ、次は？」しりとりが続きました。「う・う・う・うりんご！」「何かりんごっぽい形なんだよ、きっと。」そして、『うりんご』の後を考えていたら、「あ、思い付いた！ごりんご！」すると、それを聞いた子が、「あれ？何か聞いたことがある。『うりんご』と、“りんご” が一緒だからだ。」「だからすぐに思い付いたんだ。ちょっと違う名前にしよう。」考えることが楽しくなってきた子供たちは、「僕は〇〇だよ。私は△△。」と面白がりながら、自分が考えたへんてこな名前を言い合うようになりしました。そこで、スポンジを使いながら人形が作れるように材料を準備しておく、それを切ったり貼ったりして組み合わせながら、「じゃあ、これで僕が考えた〇〇を作る！」と、自分が考えたへんてこ人形を作って遊んでいます。へんてこな名前なので、それぞれ自分で考えたへんてこな特徴があります。手がいっぱい、目が飛び出している、羽根が生えているなど、子供たちのこんなへんてこな人形がいたらいいなあという思いが表現されています。このへんてこ人形で、友達とやりとりしたり、ストーリーを作って遊んだりしたいと思います。



ももたろうの劇をしよう！！

「楽しみ会でももたろうの劇をしよう！」とみんなで相談して決めました。役を決め、セリフを通したり、必要なものを作ったりしています。今年ブームになった忍者も登場することになりました。大がかりな道具はみんなで作ることで、一緒に作っていく気持ちが高まっていくようにしています。子供たちとストーリーやセリフを考えながら、友達と考えを伝え合い、創り上げていく達成感を味わってほしいと思います。

お誕生日おめでとうございます！！

(1月生まれ)